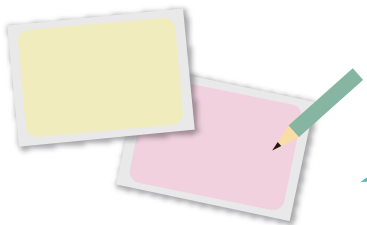


神門通り整備事業(勢溜~大鳥居付近)完了 に向けたメッセージ募集!!

神門通り大鳥居 100周年記念式典で展示します!

平成 22 年からの道づくりワークショップやデザインワークショップなどを通じて行われてきた神門通り（勢溜～大鳥居付近）の整備が今年度で完了します。
この節目にあたり、神門通りPR館では神門通りに対するメッセージを募集します。集めたメッセージはPR館内で展示するほか、「神門通り大鳥居100周年記念式典」の際にPR館前で展示することを予定しています。

通りでの思い出、
通りへの感謝の気持ち、
これからへの期待、
工事期間中に感じたことなど
メッセージの内容は自由です!



神門通りPR館にてメッセージ
記入用紙をお渡しします
(館内で、またはお持ち帰り
いただきご記入ください)

神門通りの道づくりこれまでの歩み

1 道づくりワークショップ



出雲大社の参詣道にふさわしい
風格ある景観を形成するため、
石畳舗装の配置パターンや照明灯の明るさなどは、
実際に現地で確認しながら、
具体的なデザインが検討されました。

2 デザインワークショップ



神門通りの再生に向けた道づくりはまち歩きからスタートしました。
6回にわたって開催された「道づくりワークショップ」には
延べ400人以上が参加し、将来の道路のあり方、使い方について
徹底的に議論が重ねられました。

5 出雲大社前駅～大鳥居付近 (第2期)の工事



路面には石畳が敷き詰められ、
空中からは電線・電柱がなくなりました。
広くなった歩行空間をゆっくり散策する観光客の姿が見られるようになり、整備前に比べて、歩行者交通量、沿道店舗数とも大幅に増加しました。

3 勢溜～出雲大社前駅(第1期)の工事



本殿遷座祭の後、一旦休止して
いましたが、平成26年4月に第2期
工事（出雲大社前駅～大鳥居付近）
が再開されました。1期工事と同様、
石畳舗装に合わせ沿道にある松の樹
勢回復工事も行われています。

4 勢溜～出雲大社前駅(第1期)の完成



平成25年5月の本殿遷座祭に向け、
電線地中化、石畳舗装などの第1期
(勢溜～出雲大社前駅) 工事が急ピッチで進められました。工事期間中には「神話博しまね」も開催され、県内外からたくさんの方が訪れました。

★神門通りクリーンアップ作戦を行いました★

9月18日(金)、シルバーウィークや出雲駅伝、神門通り大鳥居100周年記念式典など、通りに多くの方が訪れるのを前に、神門通りの整備事業に関わる行政や建設コンサルタント、施工業者等で、神門通りのクリーンアップ(清掃活動)を行いました。

側溝にたまった松葉をとる作業や、目詰まりをきれいにする作業を行いました

＜参加団体＞

- 出雲県土整備事務所土木工務部、維持管理部
- まるなか建設株式会社
- 株式会社トーフエンジニアリング
- 株式会社バイタルリード
- 神州電気株式会社
- 株式会社ワールド測量設計
- 神門通りPR館



神門通り2期工事(出雲大社前駅～大鳥居付近)について

		今後の工事スケジュール				
工種	工事主体	平成27年度				
		9月	10月	11月	12月	1月
地中の電線管に配線する工事	電線管理者	■	■	■	■	
電柱を撤去する工事					■	■
西側排水路の流末を改修する工事	島根県		■			
残りの照明灯を設置して配線する工事					■	
残りの石畳舗装と植栽樹を仕上げる工事						■



神門通り西側(大鳥居下付近)で排水路工事を行っています。

【期間】10月13日(火)～23日(金)(予定)

期間中、片側交互通行規制を行います。ご理解・ご協力をお願いします。

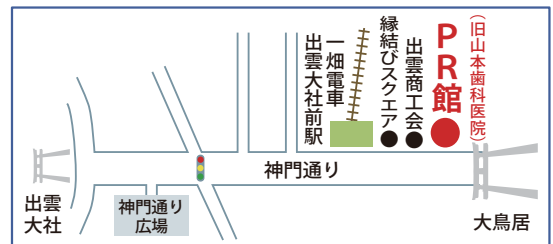
神門通りPR館へぜひお越しください！
神門通りの工事についての案内や様々な展示を行っています。



【開館時間】

9:00～17:00

定休日:毎週木曜日



出雲県土整備事務所 都市整備課からのメッセージ

昨年は台風で中止となった出雲駅伝。今年は心配された天候も何とか回復し、スタート前の神門通りには、各大学の応援団やチアリーダーの演舞により、日ごろ感じることができない大学駅伝独特の若さと活気あふれる雰囲気にも包まれていました。レースでは新しくなった神門通りの石畳を無事全ての選手が転倒もなく走り抜け、担当者としてはちょっと安心しました。

神門通りでは、現在電線管理者による入線作業(電柱に架かっている電線を地中の管に入れる工事)、西側道路側溝の流末を改修する工事などが行われており、今年度中に電柱を抜いた後の石畳舗装も含めて全ての工事が完了する見込みです。

これから、100周年記念式典、神迎祭・神在祭、年末年始とイベントや行事が続きますが、沿道の皆様への影響を最小限にとどめるよう、関係者と調整しながら残りの工事をひとつひとつ終わらせていきたいと思ひます。(荒)

